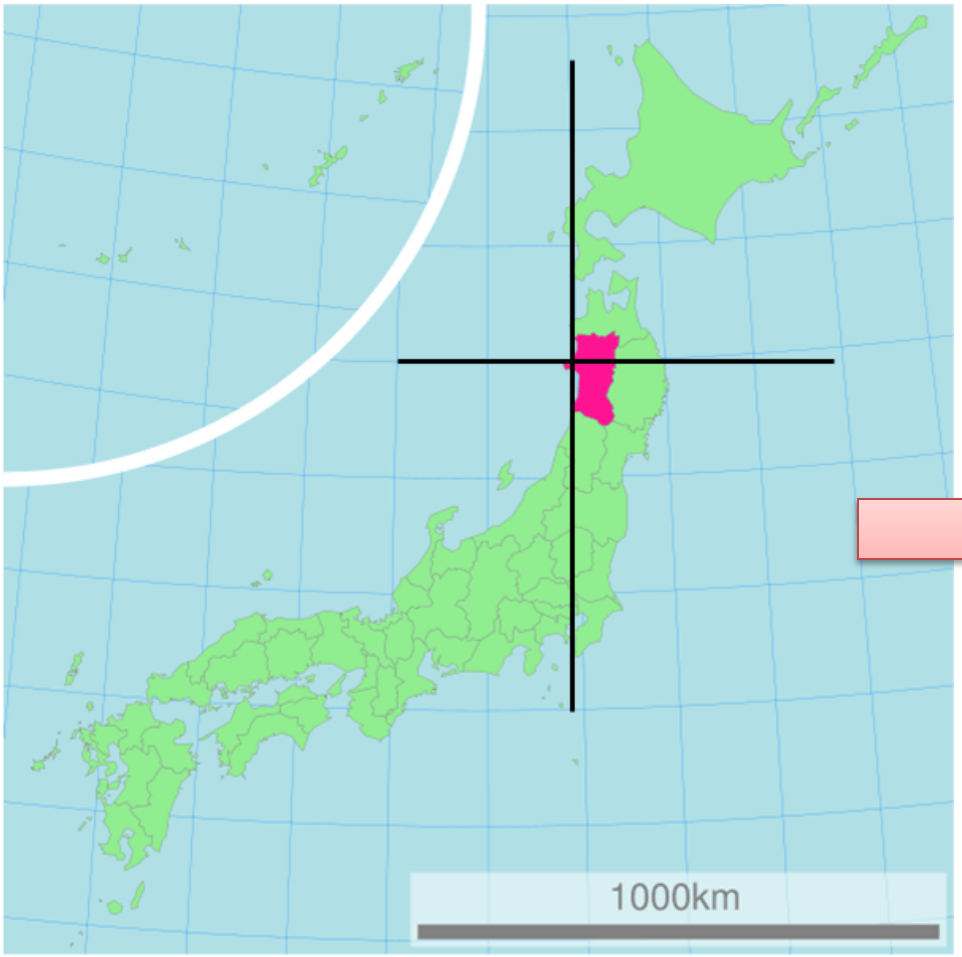
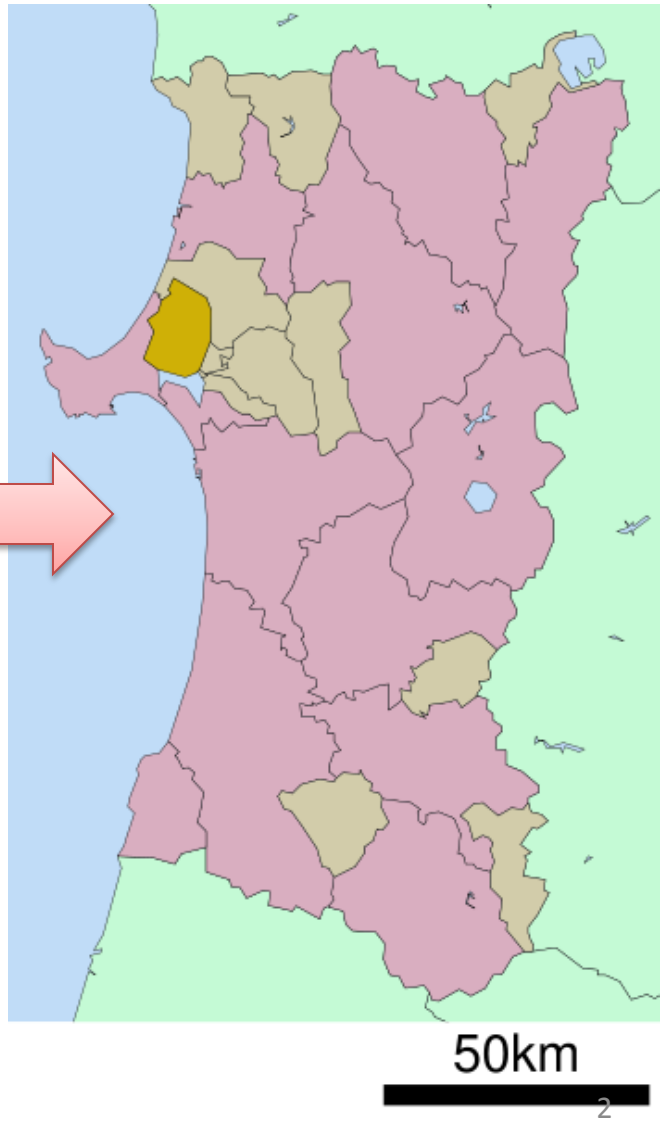
大潟村の
自然エネルギー
活用の取組み

大潟村長　高橋　浩人

1. 大潟村の紹介





地図の出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
作成者：Lincun

八郎潟の干拓

北緯40度、東経140度の交会点を中心に、東西12km、南北27km、周囲82km、総面積2万2,024ha、琵琶湖に次ぐ日本第2の広さの湖「八郎湖」を干拓してできたのが、大潟村。

1952年（昭和27年）7月
「農林省八郎潟干拓調査事務所」設置

1957年（昭和32年）4月
「八郎潟干拓事務所」設置
「国営八郎潟干拓事業」着手

1966年（昭和41年）5月
干陸

1977年（昭和52年）3月
完工

八郎湖干拓前

干拓後

およそ20年に及ぶ歳月をかけて、17,203haの新生の大地が誕生
本年50周年を迎える

２．環境創造型農業の取り組み

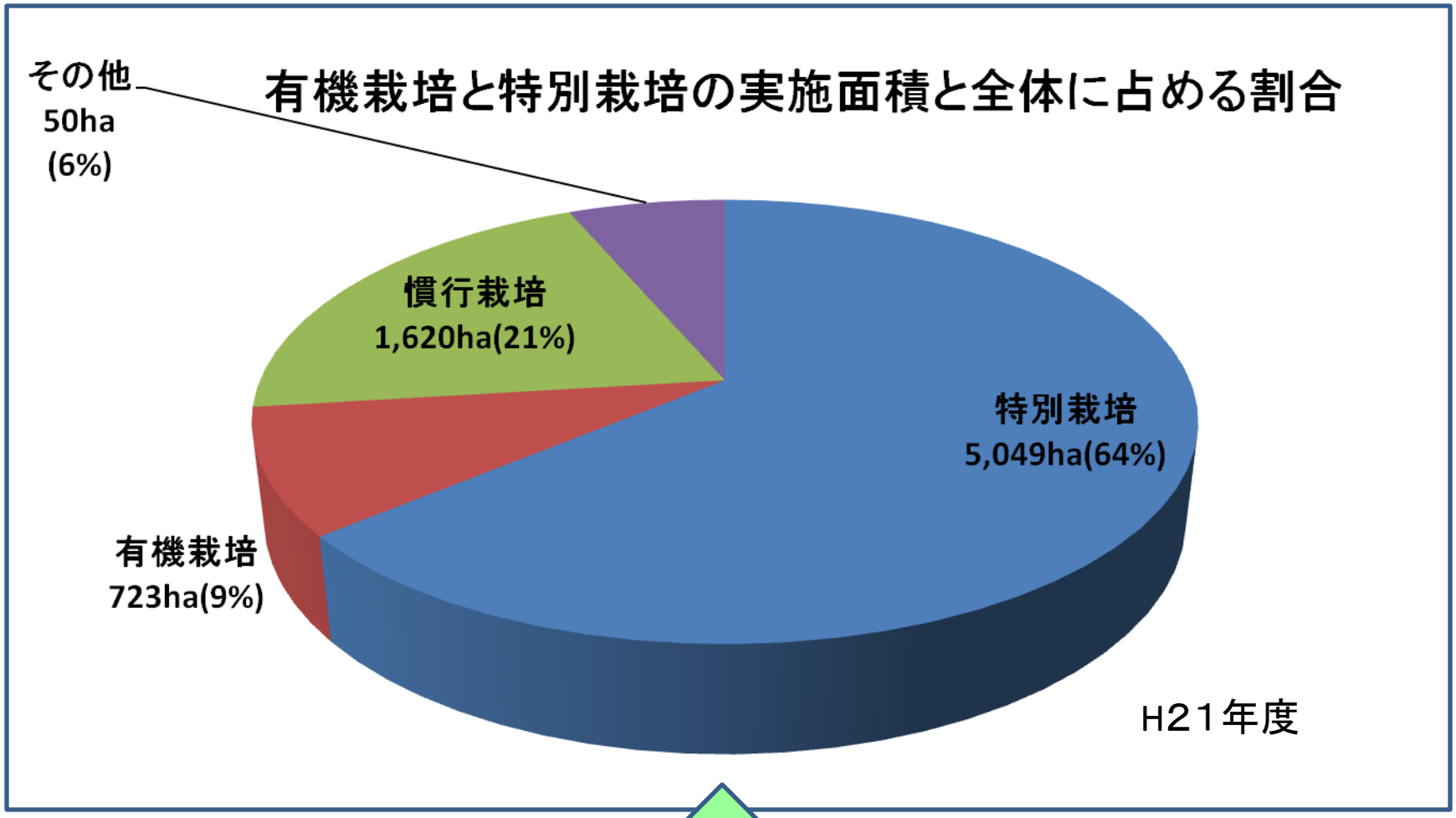
- 環境創造型農業とは・・・

  私たち大潟村の村民は、農業者としてまた生活者として、大潟村と八郎湖に自然環境をよりよいものにするために、次のことをここに宣言します。

①環境負荷をできるだけ減らし、自然を豊かに保つ。
②安全性と品質にこだわり、食べる人の健康を守る。
③ゴミ、水、化学物質、エネルギーなど環境問題に関心を持つ。

「21世紀大潟村環境創造型農業宣言」より抜粋
（平成13年6月「21世紀大潟村環境創造型農業宣言式」）

環境創造型農業への取り組み



村の農家の約85%がこの取り組みに参加

干拓地でのエネルギー使用

①排水機場に膨大な電力使用　78%

②通勤農業・大規模農業機械の燃料

３自然エネルギーの取り組み

住宅･公共施設のソーラーパネル

ソーラーカーラリー

1993年スタート

ソーラーバイシクル役場チーム　優勝

４自然エネルギー開発

大潟村では膨大な
電力と化石燃料を使用

⇩

地球温暖化防止に取組む

⇩

自然エネルギーの活用
メガソーラー・風力発電・バイオマス

⇧

野鳥などの自然環境・人の生活と共生

自然エネルギー事業化の推進

「村民主体の事業化を検討」

①風力発電　風況調査･環境影響調査

②太陽光発電事業　始動

③バイオマス事業　調査予定

株式会社
大潟共生自然エネルギー
設立

写真提供
株　サンパワー
2.2MW
潟上市にて
平成25年7月稼働

パルシステムとの提携

pal*system

大潟村はパルシステムの「食」の産直地として
長年にわたり挑戦を繰り返しながら
「つくる人」と「食べる人」の
信頼と繋がりを育んできました。

大潟村は創立５０周年を機に
「新たな農村のモデル」
として、あらたな挑戦を開始します。

私たちの「自然エネルギー」への取り組みは
小さなスタートです。
パルシステムとの提携で
「環境と農業と人とエネルギーの共生」を目指した
「食」と「エネルギー」の産直地
というあらたな付加価値を
見出していく事の一歩になると確信しています。

大潟村

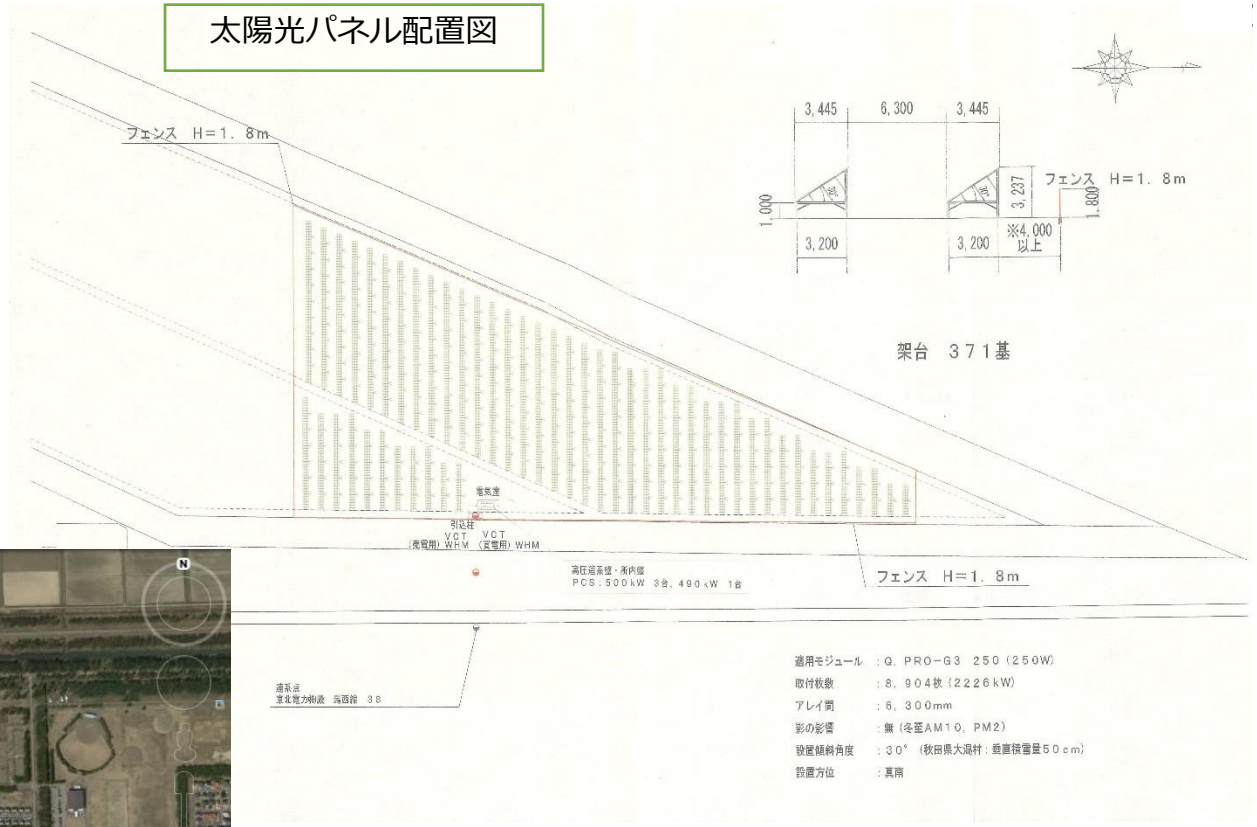
事業概要

Ogata-mura natural energy project

設置場所の概要			
設置場所	大潟村字西4丁目地内	用途	発展用地
所有者	大潟村	面積	約4ha

発電事業の概要	
発電形態	大規模太陽光発電（全量売電）
発電規模	１，５００kw （設備容量１，９７５kw）
事業運営形態	村出資を主体とした株式会社（出資は、村、村内企業・団体、村外企業・団体等）
事業費概算	（概算）5億5000万円（施設建設に5億2000万円、電力会社への負担金3000万円）
資金計画	資本金9000万円（村・村内企業団体と関連する企業・団体等） 出資金1億円（第2種金融業者に委託し、村民等から出資を募集する） 借入金3.6億円（ふるさと融資1.8億及び地元金融機関から1.8億の借入）

太陽光パネル配置図



太陽光発電所設置場所

<設備の内容>

〇パワーコンディショナー
東芝三菱電機産業システム　1,500kW（500kW×3台）
〇太陽光パネル
京セラソーラーコーポレーション　1,975kw（245W×8,064枚）
〇架台
沢木組　336基（配置4段6列・傾斜角30°）

事業収支・採算性

運用20年間の総事業収支を過去の日照データを基に試算。

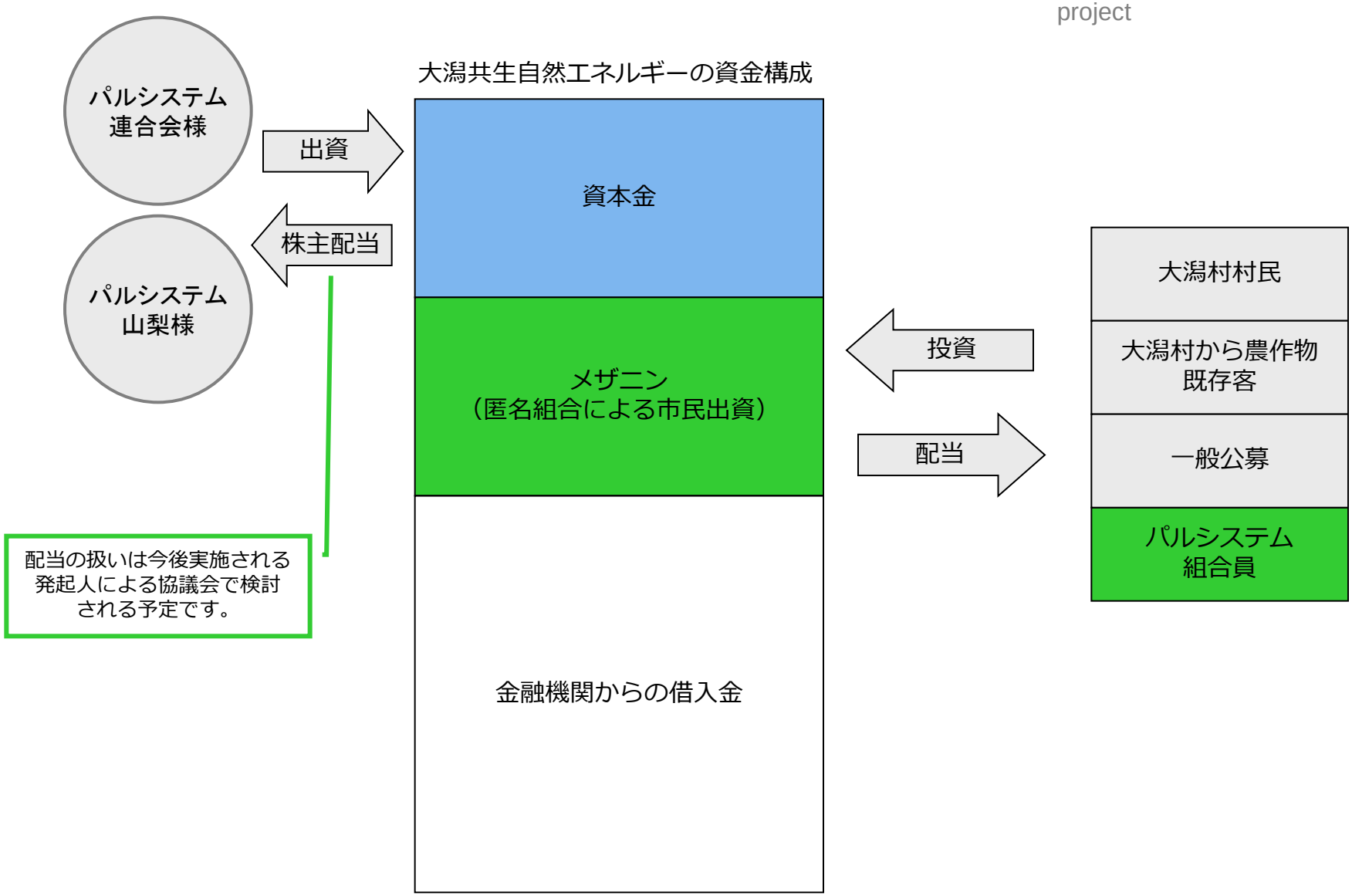
（単位：千円）

日照、日射条件	NEDO平均年適用	過去20年大潟 平均一日照比適用	過去20年大潟 平均一日照比の 下限適用
売電収入（消費税込）	1,435,842	1,435,630	1,349,478
経費計	1,180,083	1,180,063	1,180,063
税引き前利益	259,260	259,068	180,899
法人税	103,704	103,766	74,683
税引き後利益	155,556	155,648	112,025
（資金回収）			
減価償却分	536,805	536,805	536,805
税引後利益	155,556	155,648	112,025
資金回収計	692,361	692,453	648,830
元本返済計	375,680	375,680	375,680
差し引き剰余	316,681	316,427	267,341
（剰余利用計画）			
市民出資配当	16,250	16,250	16,250
市民出資返済	100,000	100,000	100,000
新事業展開	0	0	0
地域貢献事業	0	0	0
最終余剰（※）	200,431	200,177	151,091
備　考	標準的期待値	過去の日照年次変動適用	過去の日照変動幅下限 での推定

（※最終余剰には株主配当が含まれています。配当割合については出資者協議会で検討される予定です。）

パルシステム様出資参画イメージ

Ogata-mura natural energy project

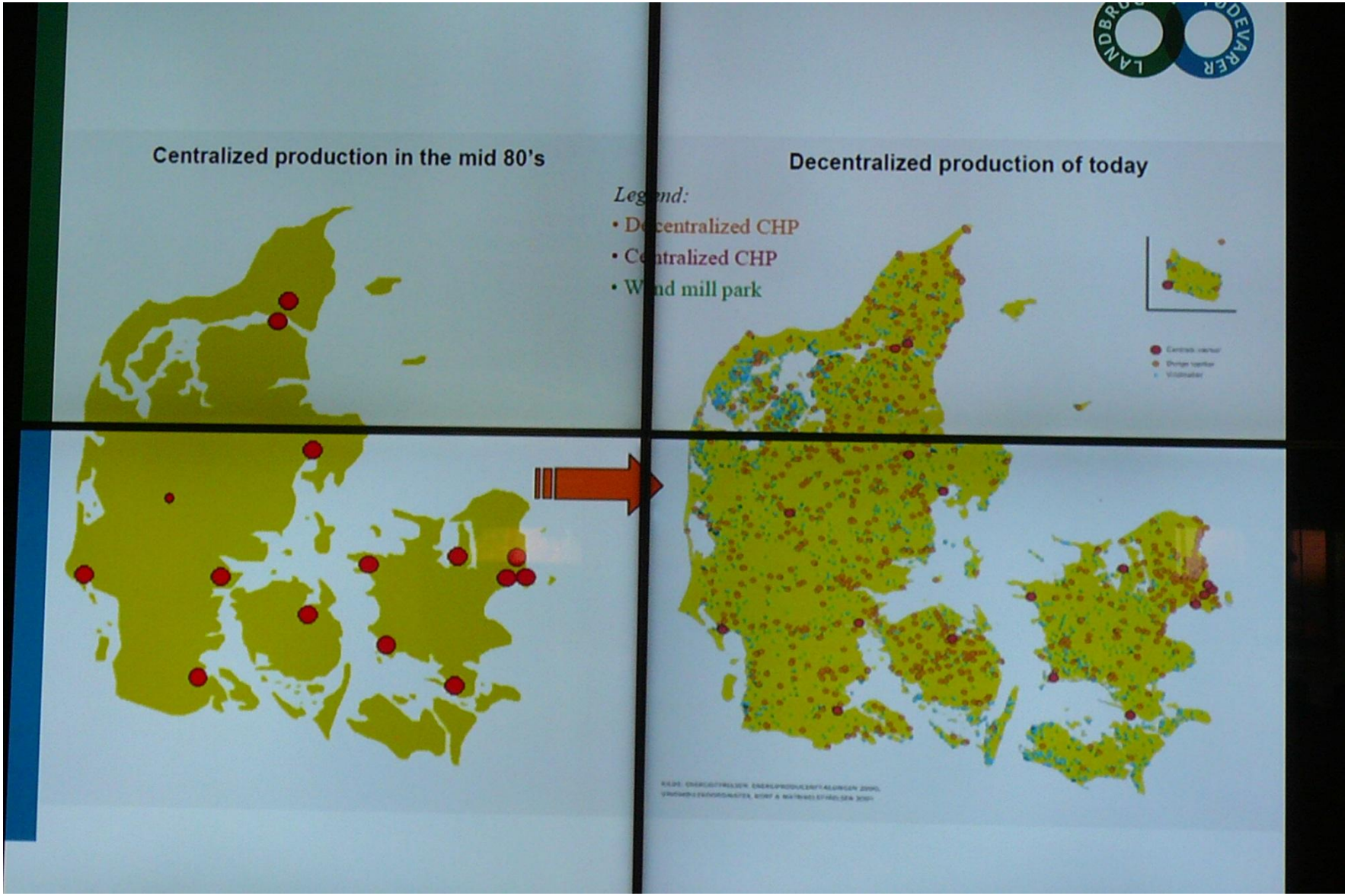


農業も
自然エネルギーも
太陽が源

今後の大潟村は

食料の生産基地
自然エネルギーの生産基地
を目指します

デンマークでの再生可能エネルギー事業の拡大



Renewable Ladies Power

今後共よろしく
お願いします

ご静聴ありがとうございました

秋田県　大潟村